



2021年2月5日

各 位

会社名 日本電波工業株式会社
 代表者名 代表取締役執行役員社長 加藤 啓美
 (コード番号 6779 東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 青山 通郎
 (TEL. 03-5453-6702)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年1月26日に公表の「構造改革に伴う連結子会社の事業終了及びその他の営業費用の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、2021年3月期第4四半期にその他の営業費用を計上する見込みです。また、最近の業績動向も踏まえて、2020年11月10日に公表した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

● 2021年3月期通期連結業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,600	3,000	2,500	1,200	1,200	61.15
今回修正予想(B)	38,900	2,400	1,900	1,200	1,200	61.15
増減額(B-A)	1,300	△600	△600	0	0	
増減率(%)	3.5%	△20.0%	△24.0%	0.0%	0.0%	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	39,468	△8,286	△8,644	△8,709	△8,709	△443.79

(差異の理由)

車載向けの受注が想定以上に回復しており、連結売上高は予想を上回る見込みです。尚、車載向け受注の増加は今期中の生産を上回るため、製商品在庫は減少する見込みです。また、新潟エヌ・デー・ケー株式会社の事業終了に伴い減損損失及び構造改革費用として合わせて約6億円を2021年3月期第4四半期にその他の営業費用に計上する見込みです。当期利益については、一部グループ会社の法人税額が当初見込みよりも減少したこと並びに当初見込んでいたNDK SAW devices株式会社株式譲渡後の残存持分の評価益に対する税金費用が発生しないことが判明したことを主因として、法人所得税費用が当初見込みよりも約6億円減少する見通しとなったため、予想値の修正は不要となりました。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上